教科	国語	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準			評価資料
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1　深まる学びへ 表現の豊かさを味わい、生き方を考える	21	●抽象的な概念を表す語句などを用いて、人物像を表す。 ●作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 ●文法の知識を生かしたスイコウや読解のポイントについて理解し、問題に取り組む。 ●相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切な表現の選び方をする。 ●歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ●人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連付けて考える。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応などの文の構成について理解している。 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。 助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。 相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。	・授業観察 ・ノート ・創作作品 ・定期考査 ・ワークブック ・発表 ・ワークシート ・自己評価表
2　視野を広げる 問題意識をもち、社会に視野を広げる	8	●論理の展開における、具体と中小の関係を捉える。 ●論説の特性を踏まえて読み、論理の展開の仕方を捉える。 ●音と訓の組み合わせに着目し、熟語の読み方について理解を深める。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどをとらえている。	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
3　言葉とともに 表現を楽しみ、言葉の世界の奥深さを知る	9	●倨句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨く。 ●倨句の作者の表現意図を考え、表現の仕方を評価する。 ●感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げる。 ●文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考える。 ●和語・漢語・外来語や、時代や世代による言葉の変化について理解し、適切に使い分ける。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。	「読むこと」において、倨句の構成や表現のしかたについて評価している。 「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる倨句になるように工夫している。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり倨句を創作したりしようとしている。 筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	
4　状況の中で 多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める。	9	●語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考える。 ●詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。 ●人の生き方や社会との関わり方を考えるまでの、読書の意義を理解する。 ●作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ●慣用句やことわざ、故事成語について理解を深め、語句の意味を調べたり、語句を用いて短文を作ったりする。 ●漢字の造語力について理解する。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。 文章を批判系に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	
5　自らの考えを 多様性の中で自分の考えを確立する	10	●社会との関わりを支える、読書の効用を理解する。 ●文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。 ●言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、描かれた情景や心情についてまとめ、交流する。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を批判的に読みなお柄、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。	
6　いにしえの心を受け継ぐ 作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす	8	●各歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しむ。 ●和歌に詠まれた情景やの情を読み取り、表現のしかたを評価する。 ●作品の歴史的背景に注意して読み、古典の世界に親しむ。 ●文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。	
7　価値を生み出す 人との関わりの中で、新しい価値を創造する	6	●具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。 ●筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。 ●教科書本文を読み、筆者の生き方について自分の考えをもつ。これから読んでみたい本や教科書の意義などについて交流する。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。	
8　未来へ向かって これまでを振り返り、これからを見つめる	24	●随筆を読み、筆者の生き方や考え方を読み取る。 ●筆者の考えから自分の生き方について考える。 ●詩を朗読し、言葉や表現上の特徴などから、詩のもつイメージを捉え、気づいたことを交流し合う。詩に込められた作者の思いを読み取り、これからの自分たちの生き方や可能性について話し合う。 ●三年間で印象に残っている学習について意見を交流し、考えを深める。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。	人間、社会などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	
書写	10	・姿勢・執筆、用具の扱い、楷書と行書両方の点画の特徴などを正しく把握している。 ・漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、練習を重ねている。 ・字形を整えることを意識して書いている。	・楷書の特徴を理解し、止めやはらいに注意して書いている。 ・漢字と仮名の調和を理解して書いている。 ・課題文字の特徴を理解し、筆づかいに注意して書いている。 ・さまざまな筆記用具を使って、用途に合わせた文字を書いている。 ・姿勢・執筆、用具の扱い、楷書の点画の特徴などを正しく把握している。	・字形を整えることを意識して書いている。	・すすんで漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、粘り強く練習を重ねている。	